

輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第2864号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

10/6

平成21年
(2009)
(火曜日)
週刊

コンビニ強化へ組織改正

キユーソー流通

倉庫事業も再構築目指す

キユーソー流通システム(本社・東京都調布市、八木博社長)は二十六日、コンビニ物流を中心とする専用物流の強化と倉庫事業の再構築を目的に、組織改正を行う。

消費低迷で、食品メーカー向け共同物流が伸び悩み。一方で、コンビニと一部外食チェーン向けの専用物流は業績を伸ばしており、一層力を入れていく方針だ。また、倉庫事業は平成十九年度から赤字が続き、建て直しが課題だった。

組織改正では、業務本部を倉庫本部と運送本部に分け、責任と権限を明確化。グループ改革推進室を新設し、グループ各社の倉庫、運送業務の効率化を図る。

さらに、地域ブロックの区割りを変更し、地域密着型営業の強化を目指す。

11月期3四半期 コスト減で増益

キユーソー流通の平成二十一年十一月期第3四半期決算は、売上高が千

十二億八千二百万円と前年比で四・八%減少したが、営業利益は七七・〇%増の十億千五百万円増となった。

景気悪化による食品在庫・出荷量の減少で、運送・倉庫は共同物流の既存取引売上が減少したものの、専用物流が拡大。燃料代の減少やパレット管理を中心としたコスト削減で増益につなげた。

今期の営業利益目標は十一億円。すでに十億円の利益を計上しているが、同社は「売り上げの目減りが予想以上に大きく、燃料価格もじわじわと上昇しており、先行きは不透明」と目標を据え置く。(矢田 健一郎)